ＪＡ掛川市2026年度上半期
経営状況のご案内

１　ＪＡの地域貢献

当ＪＡでは、地域に根ざした協同組織として、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。環境面では、肥料成分の地下水への流出を防ぐ減肥の実践や、廃プラスチック等の生産資材の適正処理により、環境保全型農業を展開しています。また、高齢者の生きがいづくりを支える「ＪＡ掛川市ゲートボール大会」の毎年の開催、組合員・地域の皆様の善意を被災地へ届ける災害救援募金活動、小・中学生を対象とした交通安全ポスター・書道コンクールの開催、地域の小学生の農業への理解を深める教材「農業とわたしたちのくらし」の配布など、福祉・文化・食農教育の分野でも地域とのつながりを大切にしています。金融面では、各種プロパー農業資金や農業近代化資金、日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて農業者の経営と生活を支えるとともに、中小企業向けには県中小企業融資制度資金やプロパー事業資金を、地域住民が主体となる地域振興・環境保全事業には地域振興資金を提供し、地域の活性化に寄与しています。さらに、農業融資担当者が営農・経済担当者と情報を共有しながら担い手への訪問・資金提案を行うほか、新規就農者向けの就農支援資金を取り扱うなど、担い手のニーズに応える体制を整えています。あわせて、金融円滑化法の施行に伴い構築した体制を法期限到来後も維持し、お客様からのご相談やお申込みに引き続き真摯かつ丁寧に対応してまいります。

２　農協法及び金融再生法に基づく開示債権(単体)

当ＪＡの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。
今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

（単位：百万円）

債権区分		2026年2月末	2026年8月末	増　減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		179	169	-10
危険債権		109	91	-18
要管理債権		27	25	-2
	三月以上延滞債権			0
	貸出条件緩和債権	27	25	-2
小計		317	287	-30
正常債権		36192	38003	1811
合計		36510	38290	1780

注：1.2026年8月末の計数は、2026年7月末を基準日として行った自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2.各債権の定義は次のとおりです。

１．破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

２．危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

３．要管理債権
４．「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と５．「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

４．三月以上延滞債権
元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

５．貸出条件緩和債権
債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

６．正常債権
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

※債権定義を必要に応じて簡略化してください。

３　単体自己資本比率

当ＪＡの自己資本比率は2026年8月末16.65%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

2026年2月末	2026年8月末(見込み)
17.58%	16.65%程度

注：1.自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（コア資本に係る基礎項目の額－コア資本に係る調整項目の額）}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額＋マーケット・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額＋オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額}}$$

2.2026年8月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算時の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、2026年7月末を基準日として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額は、直近決算における数値を使用しています。なお、マーケット・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額は、不算入としています。

４　主要勘定の状況

（単位：百万円）

	2025年8月末	2026年2月末	2026年8月末
貯金	114,282	114,187	114,429
貸出金	36,004	36,487	38,564
預金	66,397	65,619	62,453
有価証券	11,955	10,027	13,188

注：2025年8月末及び2026年8月末の残高は帳簿価格を、
2026年2月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

５　有価証券等の時価情報

（単位：百万円）

	2026年2月末			2026年8月末		
	帳簿価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
満期保有目的の債券	1,292	1,284	△ 8	1,789	1,737	△ 52

（単位：百万円）

	2026年2月末			2026年8月末		
	取得原価	時価	評価差額	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	10,962	8,735	△ 2,227	11,399	8,455	△ 2,944
株式	－	－	－	－	－	－
債券	10,962	8,735	△ 2,227	10,962	8,029	△ 2,933
その他	－	－	－	437	426	△ 11

注：1.満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2.その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。
3.2026年2月末及び2026年8月末の含み損益・評価差額は、各時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しております。
4.子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。